

## モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2002年5月14日

先週の農作業可能日数は2.0日であった。気温はこの週も平年を大きく下回り、各地で降雪が有った。最低気温は11度～25度Fを記録した。全州で10%の圃場で農作業が開始されていない。昨年の同期の状況より大幅な遅れである。降雪及び降水により土壌水分は多少改善されたが、昨年10月1日からの降水量の累計は殆どの地区で平年の50%～60%に過ぎない。降水不足と低温が小麦の生育を遅らせている。全州の凡そ1%の冬小麦が未だ休眠中である。冬小麦の生育状況は33%が著しく不良（平年6%）、不良30%（平年16%）と報告されている。春小麦の播種は46%の圃場にて完了（昨年並びに5年平均同期では77%）した。低温の為出芽は遅れており、4%の圃場で出芽しているのみである。昨年同期では34%、平年同期では36%の圃場で出芽していた。異常低温の為、ベリング市近郊では凡そ1万エーカーの砂糖大根が凍死したと報告されている。

2002年5月12日現在

土壌水分：

Topsoil

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Very short (%)	13	28	27	18
Short (%)	28	36	47	36
Adequate (%)	56	35	26	44
Surplus (%)	3	1	0	2

Subsoil

Very short (%)	46	52	39	20
Short (%)	31	31	40	34
Adequate (%)	23	17	21	43
Surplus (%)	0	0	0	3

小麦作柄：

Winter wheat	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	33	30	28	8	1
Last week (%)	40	22	29	8	1
Last year (%)	15	30	37	15	1
5-yr. Ave. (%)	6	16	41	33	4

小麦進捗状況：

冬小麦は1%が未だ休眠中であり、45%のほ場が休眠から覚め緑化を始めており、54%のほ場で生育を開始している。平年より生育は遅れている。

Spring wheat	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Seeded (%)	46	38	77	77
Emerged (%)	4	3	34	36

Source: Montana Agricultural statistics Service